

科目ナンバー	EDU-2-052-j			科目名	教育と人間「教育原理I」(初等)		
教員名	呉 宣児			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本授業では、教育について問い続け対処できるように必要な原理的知識を得るために、思想や歴史、制度など多角的な観点から「教育」と「人間」を捉えます。受講生の自分自身の「教育」の経験の範囲を超えて、教育の理念・思想・歴史・子ども観等を体系的に学び、それによって、現代の教育が抱え込んでいる様々な問題について知ること、また「教育」という公共的・社会的問題に対する自分なりの考え方の基礎を確立し、自らが教育原理に基づいて自由な発想を持って教育実践ができる奥行をつくることをめざします。						
到達目標	この授業の目標は次の通りです。①教育の本質・意義について深く理解でき、自己の教育観の再構築を目標とすること。②学校教育に関する思想や制度の歴史的な変遷に関する知識を得て、現代教育の位置づけや問題点を把握できること。③子ども観の変化の歴史や、子ども観と教育の関係について学び、現代の教育と子ども発達をつなげて考えられること。④関連資料を読み込み、論理的に思考し、分かりやすく発表・文書作成ができること。⑤グループのなかで自分の意見や他人の意見を調節しながら共同でワークができること。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	1回の授業のなかで、次の3セッションで構成し進行していきます。内容によって時間配分は異なり、必要に応じて教員による講義だけのときもあり、視聴覚教材も利用したりします。①テキスト・資料に基づき、教員の講義または受講者で構成されるグループの発表を通して、基本的な知見を学びます。②テキスト・資料の内容と関連するテーマを決め、具体的な教育実践の場・状況も考慮しながらグループワーク・討論・振り返りワークを行います。③その日に学んだことを各自振り返りながら「文章」で考察を行います。指定の資料やコメントはムードルで共有します。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	欠席した日に授業のなかで課題等を行った場合、授業内容を各自確認して課題を提出してください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	①資料を読んだり、調べたことに基づいて行った課題物を持参しグループ内での発表を行う(35%)②毎回の授業での取組の姿勢や授業時に提出する感想文や授業シートなど。(30%)②期末レポート(35%)						
教材	『やさしい教育原理』第3版 田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二 有斐閣 2016年						
参考図書	『教育学をつかむ』木村 元・小玉重夫・舟橋一男 有斐閣 2009年『教育思想史』今井康雄(編)有斐閣 2009年『学校という場で人はどう生きているのか』浜田寿美男・小沢牧子・佐々木賢 北大路書房 2003年『学校のパラダイム転換』高橋 勝 川島書店 1997年『よくわかる教育原理』汐見稔幸・伊藤 毅 他 ミネルヴァ書房 2011年						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業:授業ガイダンス授業の概要とスケジュール、関連資料、評価とうについてシラバスに基づき開設する。						
授業外学修内容	授業について必要な情報を得たうえで履修手続きをしてほしい。					時間数	
2週目							
授業学修内容	「形成」という人間形成史人間形成のなかで「教育」とは何かを考えるため、人間形成の歴史を概観する。・課題に基づいてグループ内で発表し共有する。						
授業外学修内容	指定された資料を読み、キーワードを中心に要約して授業シートを提出する。授業内で提出できない場合には、次回までにシートを作成して提出する。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	人間形成における生活・動労・遊び(1)経験を共有する・関連するテーマでグループ討論を行う。						
授業外学修内容	関連文献を読み、自分の体験にもとづいて「生活、労働、遊びの原風景」シートを作成する。					時間数	3

4週目			
授業学修内容	人間形成における生活・労働・遊び(2)思想家たちの言説に学ぶ		
授業外学修内容	指定された資料を読み、授業シートを完成させる。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	形成と教化と教育(1)形成・教化と教育文献や資料に基づき、「教育」概念と似て非する周辺概念をおさえることを通して、「教育」とは何かを認識する。		
授業外学修内容	関連文献や資料、授業の内容を振り返り、授業のシートを完成させる。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	形成と教化と教育(2)「教育」の特異性文献を読み進め、資料を参考にして歴史的・社会的に「教育」を捉える。・課題の基にグループ内発表と討論を行う。		
授業外学修内容	産業革命前後の次期の子どもたちの生活の様子が描かれている西洋の古典文学作品を読んで、そこに出てくる社会の特徴、子どもの位置づけ、教育の在り方について自分なりの要約・解釈をして授業時に持参する。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	「教育」とは何か教育と発達教育学と心理学の境界領域である発達について、また発達と教育との関わりについて解説し、人類にとっての「教育」の意味について認識する。・課題の基にグループ内発表と討論を行う。		
授業外学修内容	ヴィゴツキーに関する文献を読み、ヴィゴツキーの発達観、教育観についてまとめて授業時に持ってくる。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	「教える」とこと「学ぶ」とこと二つの概念の違いを事例を通して認識する。		
授業外学修内容	指定された資料を読んでシートを完成させる。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	「子ども」、「家族」、「教育」の誕生(1)これぞれの概念の成立を歴史的に理解できるように解説する。「子ども」に焦点をあてる。		
授業外学修内容	指定された資料を読んでシートを完成させる。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	「子ども」「家族」「教育」の誕生(2)視聴覚教材の視聴を通して、歴史的・社会的存在としての「子ども」を認識する。・課題の基にグループ内発表と討論を行う。		
授業外学修内容	時代背景が異なる絵本を3冊選び、絵本に出てくる子ども、家族、教育の特徴についてまとめて授業時に持参する。	時間数	4
11週目			
授業学修内容	「子ども」、「家族」、「教育」の誕生(3)それぞれの概念の成立を歴史的に理解できるように考察する。人口動態資料などに基づき「家族」にアプローチする。		
授業外学修内容	家族についての授業シートを完成させる。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	学校とは何か学校の社会過程と近代学校の思想学校の歴史を概観した上で、近代学校の思想と捉える。「教育」の歴史との違いを認識する。・関連するテーマでグループ討論を行う。		
授業外学修内容	学校史についてさらに調べなどして、学校と教育についての授業シートを完成させる。	時間数	4
13週目			
授業学修内容	教育における「ことば」と文化資料や事例に基づき「ことば」の習得と人間形成について考察する。		
授業外学修内容	関連文献を読み認識を深めて授業シートを完成させる。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	「競争」と教育関連資料を読み解くなかで、教育における競争の質の変遷や、競争の人間形成にとっての意味を考察する。・関連テーマを用いてグループ討論を行う。		
授業外学修内容	関連文献やデータを読み、授業シートを完成させる。	時間数	2

15週目			
授業学修内容	まとめ授業の内容を振り返り、関連領域から問題を設定をし考察を行う。		
授業外学修内容	設定課題や自ら設定した課題についての考察をレポートにまとめる。	時間数	20
上記の授業外学修時間の合計		54	
その他に必要な自習時間		36	

Number	EDU-2-052-j	Subject	Principles of Education I(Elementary)		
Name	呉 宣児(Oh Seon Ah)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In this class, we will focus on "education" and "human" from a multilateral point of view such as thought, history, institution, etc. in order to obtain the fundamental knowledge for inquiring about education and coping with it. Beyond the scope of the students' experience of "education", learning systematically philosophy, thought, history, and the view of children of education, thereby to know about various problems that modern education carries. We also aim to establish the foundation of our own way of thinking about public and social problems of "education" and to create a depth that allows them to practice education with free thought based on the principle of education.</p>				